

北海道労働者福祉協議会

当協議会会員事業団体としての北海道労働金庫の取組について

1. 多重債務相談活動

(1) 相談体制

札幌のお客様相談室を中心として、全店に多重債務相談員を配置。

(2) 2021年度 多重債務相談件数

全店合計 18件

※多重債務者の定義(金融庁)は、5件以上消費者金融業者あるいはクレジットカードのキャッシング利用による借入れのある方。

2. 多重債務防止のための学習会活動

(1) 会員労働組合対象の学習会開催

2021年度は、398カ所・6,887人を対象に学習会実施。(内75カ所で多重債務をテーマとして実施)

※多重債務予防として高金利ローン借換(カードローン等)をテーマとして、149カ所で実施。

(2) 消費者教育の実施

① 2021年度 教育機関に対する職場体験・社会見学及び出前講座実施

| | | |
|---------------|-------------|-----|
| ・職場体験、社会見学受入れ | 小学校1校、中学校4校 | 計5校 |
| ・出前講座実施 | 中学校1校、高校1校 | 計2校 |

② 大学生への消費者教育実施

・全国大学生協北海道ブロック第5回全道学生委員会(2021年10月24日)に出席し、成人年齢引下げや若年層が注意するマネートラブルについて説明

③ 金融庁「多重債務相談キャンペーン2021」(9月1日～12月31日)への協力

・各支店・出張所店頭にはポスター掲示、店頭にてリーフレット備え置き

3. 奨学金問題への取組み

(1) 北海道労働金庫の取組み

奨学金問題への社会的役割発揮に向け、「奨学金借換ローン」「奨学金借換+ α ローン」の取扱いをしている。

※2021年度の融資実績

| | |
|-----------------------|---------------|
| 【奨学金借換ローン】 | 40件・9,800万円 |
| 【奨学金借換+ α ローン】 | 38件・1億5,500万円 |

(2) 当協議会の取組み

2021年11月9日～11月11日にかけて、「奨学金に関する電話相談」を実施した。

※今年度は、2022年11月11、12日に実施した。

4. セーフティネット貸付の活用状況

(1) 「ほっかいどう勤労者福祉資金」の積極活用

- ① 融資対象者 中小企業に勤務する方・非正規労働者の方・季節労働者の方・離職者の方
- ② 取扱店 全営業店
- ③ 利用実績 17件(2021年度)

5. 新型コロナウイルス感染拡大に伴う勤労者支援策

(1) 「ほっかいどう勤労者福祉資金(道労信協保証)【中小】【非正規】」において、保証料免除扱いとする取扱を行っている。

(2) 返済が困難になっている労働金庫既往融資利用者に対する支援策として、元金返済の措置、貸出期日の延長、返済猶予、遅延損害金の免除を行っている。

※返済方法変更に係る受付実績

有担保・無担保融資 449件(2022年9月末現在)

カードローン 12件(2022年9月末現在)

※適用対象外や希望に沿うことができないケースもあるため、まずは労働金庫へ相談をすることが望ましい。

(3) 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける方に対する融資受付実績

① 新型コロナウイルス関連特別融資 206件(2022年9月末現在)

② 勤労者生活支援特別融資制度(新型コロナの影響) 36件(2022年9月末現在)

在)

以 上